
ホムヘルパ になった僕（最終章）

星野いちろう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホムヘルパ になった僕（最終章）

【Nコード】

N3476E

【作者名】

星野いちろう

【あらすじ】

一人暮らしをするようになり、ホムヘルパを続けていくうちに、成長していく自分自身。

ホムヘルパ になった僕（最終章）

ホムヘルパの仕事を、現在の住まいで、始めたところ、部屋には、何も物がなく、あるのは、援護寮からいただいたコタツと冷蔵庫、二層式洗濯機、食器棚だけでした。

物のない生活は寂しく、福祉の仕事というのは、給料も少ないので、生活は、大変なものでした。

朝食抜きで、昼は、インスタントラメン、夕食は、カップ焼きそばの毎日でした。栄養不足でしたが、仕事に燃えていた私は、必死で、幻聴と戦いながら頑張っていました。利用者さんに助けられながら、ホムヘルパのプロとして認められるまで、いや、社会人として、仕事ができる喜びを噛みしめながら、友人や、恋人に助けられながら、なんとか、仕事を続けました。

まず、目標として、ホムヘルパ 1級の資格をとり、社員になる努力をしました。その頃、彼女と一緒に暮らしていたので、どれだけ彼女に救われたことか、今では、彼女に感謝の気持ちでいっぱいです。

おかげで、1級の資格を無事取ることができました。職場の上司に、社員になりたいと交渉しましたが、駄目でした。残念な結果には、なりましたが、その時、思ったことは、収入を増やすことを目的とした自分が、恥ずかしい。それよりも、

「継続は力なり」こ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3476e/>

ホムヘルパ になった僕（最終章）

2010年10月9日20時58分発行